

<http://d.hatena.ne.jp/sfujiwara/20080807/1218095706>  
<http://passing.breeze.cc/mt/archives/2008/08/vmware-esxi-usb.html>  
<http://pc11.2ch.net/test/read.cgi/software/1217426756/>

## 注意点

- ・ ATA は未サポート。CD-ROM は USB または SATA 接続にする
- ・ Intel チップセットの RAID/AHCI は未サポート。BIOS で切る
- ・ ATA の HDD で VMFS 未サポート。SATA モードで使う
- ・ カニ NIC 未サポート。Intel や Broadcom を使う

らしい。

上三つは未確認だけど、カニ NIC は確かに未サポートだった。

- ・ ゲスト OS に CentOS を入れる場合、  
SCSI Adapter は  
Windows の場合は、Bus Logic  
CentOS の場合は、LSI Logic  
にしないとハードディスクが認識出来ないことがある。  
上記以外の場合は、試してみないとわからないw

SCSI アダプタでは、  
BusLogic または LSI Logic SCSI アダプタの  
どちらかを選択できます。

古いゲスト オペレーティング システムの  
デフォルトは、BusLogic アダプタです。  
LSI Logic アダプタはパフォーマンスが向上されており、  
ディスクではない SCSI デバイスとの使用に適しています。

## インストール

基本的には CD からブートしてインストール。

インストールがうまく行かない場合

1GB の USB メモリを用意して、Linux マシンで

- ・ ISO image をループバックマウント
- ・ install.tgz を展開
- ・ その中の VMware-VMvisor-big-3.5.0\_Update\_2-103909.i386.dd.bz2 を圧縮解いて
- ・ dd で USB メモリに書き込む

```
# mount -o loop VMware-VMvisor-InstallerCD-3.5.0_Update_2-103909.i386.iso /mnt/misc  
# tar xzvf /mnt/misc/install.tgz  
# bzip2 -d usr/lib/vmware/installer/VMware-VMvisor-big-3.5.0_Update_2-103909.i386.dd.bz2  
# dd if=usr/lib/vmware/installer/VMware-VMvisor-big-3.5.0_Update_2-103909.i386.dd of=/dev/sdb bs=1M
```

上記方法で「Panic: No useable banks found.」が出る場合

BIOS の設定で USB Storage のモードを HDD に指定する

Panic: No usable banks found のエラーで起動せず、かつ BIOS で USB Emulation が

## 無い場合の対処方法

- 1) USB の BootDisk を作成する要領で、IDE の HDD に boot.image を DD Linux の CD でレスキューモードとか使う
- 2) 同じ様に USB メモリにも DD を行っておく
- 3) USB を PC 本体に差す
- 4) BIOS で、HDD から ESXi を起動するように設定する。
- 5) HDD から起動  
(この時、USB メモリを差していないと以下のエラーが出る)  
PANIC: Failed to find HD boot partition
- 6) HDD から起動したあと、USB メモリ側をマウントしている雰囲気。
- 7) 起動完了

## ゲスト OS インストール

ESXi インストール後に表示される URL から

VIC (VMware Infrastructure Client) をダウンロードしてインストールする。

あとは VIC で操作する。

## ライセンス登録

ライセンスはホストマシンの

「構成」->「ライセンス機能」

のシリアルナンバーに入力すればOK。